田原市まちなかレンタサイクル利用規約

(目的)

第1条 この利用規約は、田原市（以下「市」という。）の運用する田原市まちなかレンタサイクル（以下「レンタサイクル」という。）の利用に関し必要な事項について定めるものとする。

(利用者)

第2条 レンタサイクルを利用できる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 高校生以上である者又はレンタサイクルの利用について保護者の同意がある中学生
- (2) 自転車を安全に運転する者
- (3) 暴力団員、暴力団関係者、その他反社会勢力に属さない者
- (4) この利用規約に同意し、遵守する者

(ステーション)

第3条 レンタサイクルの貸出し及び返却の手続を行う窓口（以下「ステーション」という。）の名称、所在地等、定休日、利用時間は次の表のとおりとする。

ステーションの名称	所在地等	定休日（年末年始等を除く）	利用時間
田原市役所	田原町南番場30番地1 (0531-22-1111)	なし	午前9時から 午後7時まで
田原福祉センター	赤石二丁目2番地 (0531-23-3811)	祝日	午前9時から 午後7時まで
田原文化会館	田原町汐見5番地 (0531-22-6061)	月曜日（月曜日が祝日の場合は、翌平日）	午前9時から 午後7時まで
三河田原駅	田原町東大浜4番地12 (0531-22-0157)	なし	午前9時から 午後7時まで
セントファール	田原町萱町1番地 (0531-27-7888)	なし	午前10時から 午後7時まで

(登録カード)

第4条 レンタサイクルを利用しようとする者は、あらかじめ、身元確認書類を提示し、及び利用者登録カード申込書を提出することで、レンタサイクル利用者登録カード（以下「登録カード」という。）の交付を受けることができる。

- 2 登録カードの交付を受けた者（以下この条において「登録者」という。）は、市に登録された情報に変更があったときは、直ちに、その旨を市に届け出なければならない。
- 3 市は、次の各号のいずれかに該当したときは、登録カードの利用を停止することができる。
 - (1) 登録者が第2条の規定に該当しない者であることが明らかになったとき。
 - (2) 登録者との連絡を取ることができなくなったとき。

(3) 登録情報に誤りがあることを知ったとき。

4 登録者は、登録カードを紛失し、又は破損したときは、直ちに、その旨を市に届け出なければならない。

5 市は、前項の規定による届出があったときは、登録カードの再交付その他の必要な措置をとるものとする。

(貸出し)

第5条 レンタサイクルを利用しようとする者は、レンタサイクルを利用しようとする日の午後5時までに、ステーションで登録カード又は身元確認書類を提示し、及び受付名簿に必要な事項を記入する方法により、レンタサイクルの貸出しを申し込まなければならない。

2 レンタサイクルの貸出しは、無料とする。

(返却)

第6条 前条の規定による申込みによりレンタサイクルの貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）は、当該申込みをした日の午後7時までに、当該申込みをしたステーションへレンタサイクルを返却しなければならない。ただし、同条の規定による申込み時に申し出た場合に限り、田原市役所で貸出しを受けたレンタサイクルにあつては田原文化会館へ、田原文化会館で貸出しを受けたレンタサイクルにあつては田原市役所へ、それぞれ返却することができる。

(遵守事項)

第7条 利用者は、第5条の規定による申込み後、前条の規定による返却までの間、適切にレンタサイクルを利用し、及び管理しなければならない。

2 利用者は、ブレーキ、ハンドル、タイヤ等が安全に利用できる状態であることを確認の上、レンタサイクルを利用しなければならない。

3 利用者は、レンタサイクルの損傷、部品の紛失及び整備不良を発見した場合は、直ちにステーションに報告し、当該レンタサイクルの利用を中止しなければならない。

4 利用者は、レンタサイクルのパンク、その他軽微な故障を発見した場合は、自転車組合加盟店に持ち込み、修繕を依頼しなければならない。この場合において、当該修繕にかかる費用は、市が負担するものとする。

5 利用者は、レンタサイクルの利用中に事故を起こした場合は、事故の規模にかかわらず、法令上の措置をとるとともに、直ちに、その旨を所轄の警察、市及びステーションへ報告しなければならない。

6 利用者は、レンタサイクルの利用中に起こした事故の責任を負わなければならない。ただし、レンタサイクルの整備不良又は欠陥による事故にあつては、この限りでない。

7 利用者は、レンタサイクルを紛失し、又は毀損した場合は、その旨を市又はステーションへ報告しなければならない。

8 利用者は、レンタサイクルの鍵を紛失した場合は、その旨を市及びステーションへ報告するとともに、市の指示に従い、鍵を購入し、又は鍵の購入にかかる費用を負担しなければならない。

9 利用者は、レンタサイクルの利用に際し、ヘルメットを用意し、当該ヘルメットを着用するよう努めなければならない。

(禁止事項)

第8条 利用者は、レンタサイクルを故意に毀損し、又は滅失してはならない。

2 利用者は、レンタサイクル又は登録カードを転貸してはならない。

3 利用者は、レンタサイクルを公共の場所等に放置してはならない。

4 利用者は、レンタサイクルを改造してはならない。

5 利用者は、レンタサイクルの利用に際し、危険な運転をしてはならない。

6 利用者は、レンタサイクルの利用に際し、法令又は公序良俗に違反する行為その他市が適当でないと認める行為をしてはならない。

(違反等への対応)

第9条 市は、利用者の責めに帰すべき理由により生じた事故の責任を負わないものとし、利用者に対し、当該事故により生じた損害の賠償を求めることができるものとする。

2 市は、この利用規約に違反している利用者に対し、レンタサイクルの利用を中止させ、又は制限することができるものとする。

3 市は、第6条に規定する期限までに返却しない利用者が利用するレンタサイクルを強制的に回収することができる。

4 市は、第6条に規定する期限までに返却しない利用者に対し、書面により当該レンタサイクルを返却すべきことを催告することができるものとする。この場合において、利用者が返却に応じないときは、当該利用者の家族、通学先、勤務先等へ連絡、若しくは盗難届の提出その他法的手段をとることができるものとする。

(利用規約の公表)

第10条 市は、市ホームページへ掲載する方法により、この利用規約を公表するものとする。

附 則

この規約は、令和5年2月7日から施行する。